



れんごろう 青森

発行 日本労働組合総連合会
青森県連合会(連合青森)
発行人 中野 隼 編集人 堤 史子
青森市本町3丁目3の11
青森県労働福祉会館内
TEL (017)735-0551
FAX (017)735-0553
URL <http://aomori.jtuc-rengo.jp/>
月1回発行 1部10円
(組合員の購読料は会費の中に含む)

男女平等参画社会の実現を！

ジェンダー平等推進委員会と女性委員会が青森労働局に要請

男女平等参画社会の実現をめざす機運が世界の潮流となっている今、日本における男女平等はあらゆる分野において遅れをとっている現状にある。

連合青森は男女がともに仕事と生活を両立できる社会、男女平等参画社会の実現をめざし、6月20日(木)、ジェンダー平等推進委員会と女性委員会の連名で青森労働局に対し、「男女平等参画社会の実現」に向けた要請を行った。

この要請にはジェンダー平等推進委員会の高橋博幸委員長と武部千賀子事務局長のほか委員4名が出席し、青森労働局雇用環境・均等室居石淳子室長に要請書を手渡した。

要請内容は、①県策定の「第1次青森県困難な問題を抱える女性支援計画及びDV防止・被害者支援計画」に従い民間団体と連携した包括的支援の強化、②ハローワークの相談員をはじめ、臨時職員・非常勤職員の雇用安定と処遇改善、③「男女の賃金の差異」の数値公表について、常時雇用労働者100人超の事業所にも促すとともに差異の要因分析・是正に取り組むよう促すこと等、6項



居石室長に要請書を手渡す高橋委員長(左)

目。
要請書を手渡した高橋委員長は「男女間賃金格差の公表義務の対象拡大について、青森県においては多くの労働者が中小企業で働いていることを踏まえれば、まず対象事業主に行動計画策定を促すことが重要となる。単なる数値の公表に留まらず、要因分析が図られるよう支援をお願いしたい。困っている方へのきめ細やかな対応と確実に行き届く支援をお願いする」と強調した。

要請書を受けとった居石室長は「確実に行き届く支援にむけ、引き続き関係機関と連携し取り組んでいく」と回答した。



居石室長

連合青森2024春季生活闘争妥結状況				2024年6月20日現在【昨年同時期比較】						
		対象組合・員数	要求提出		加重平均		妥結状況		加重平均	
			組合数	率	金額	率	組合数	率	金額	率
連合青森全体	2024年	181組合 20,677名	123組合	67.96%	12,665円	5.72%	111組合	90.24%	9,989円	4.01%
	2023年	188組合 23,590名	128組合	68.09%	10,312円	4.78%	103組合	80.46%	8,498円	4.19%
地場労組	2024年	108組合 10,354名	71組合	65.74%	12,262円	6.08%	64組合	90.14%	9,767円	4.08%
	2023年	117組合 10,997名	75組合	60.00%	9,647円	4.93%	55組合	73.33%	8,468円	4.24%

「仕事で悩むあなたを応援します」

女性のための全国一斉労働相談ホットライン

近年、女性活躍推進法や改正育児・介護休業法、ハラスメント対策関連法が施行されるなど働く女性に関わる法整備は進んでいるものの、一方では

女性委員会佐藤代表幹事と
織笠代表幹事も井土参加



セクハラ・パワハラ・マタハラなど「差別等」に関する相談が増加傾向にある。

このような状況を踏まえ、連合は6月4日（火）と5日（水）の2日間、全国一斉相談ダイヤルを実施した。



岡田華子推薦候補者(3区)も参加

また労働相談ダイヤル周知のため、6月3日（月）12時から弘前市の「イトーヨーカドー弘前店」前にて街頭行動を行い、性差別のない職場環境や労働組合の意義・必要性を訴えた。

■全国一斉相談ホットライン集計

（本部オンライン相談別）

	総数	男性	女性	その他
連合本部	574件	129件	443件	2件
連合青森	3件	1件	2件	—

■雇用形態(連合青森)：正社員2件・不明1件

■相談内容(連合青森)※複数該当あり

パワハラ・嫌がらせ	2件	労働契約	1件
年次有給休暇他	1件	その他	1件

■相談事例

介護職員。シフトに本人の確認なく、勝手に有給休暇が4日入れられていた。有給休暇は本人の希望のもと、取得するものではないのか。

（正社員・男性・50代）



2024年7月行動予定 7月10日現在

- 7月10日（水）14時 県労働福祉会館
「第5回戦術会議」
- 7月10日（水）上記終了後 県労働福祉会館
「第6回四役会議」
- 7月10日（水）～20日（土）
青森駅前アートギャラリー
「戦後79年・青森空襲パネル展」
- 7月12日（金）10時30分 県労働福祉会館
「第8回事務局会議」
- 7月12日（金）15時 県労働福祉会館
「2024連合青森職員研修会」
- 7月16日（火）10時30分 県労働福祉会館
「第3回政策委員会」
- 7月16日（火）13時30分 県労働福祉会館
「第5回闘争委員会」

- 7月16日（火）上記終了後 県労働福祉会館
「第6回執行委員会」
- 7月18日（木）16時 県労働福祉会館
「第1回食みみ実行委員会」
- 7月19日（金）14時 しあわせプラザ
「2024青年委員会拡大幹事会」
- 7月23日（火）14時 県労働福祉会館
「2024地域活性化フォーラム」
- 7月25日（木）15時 県母子寡婦福祉連合会
「フードバンク寄贈」
- 7月29日（月）13時 県労働福祉会館
「第1回最賃対策委員会」
- 7月29日（月）13時30分 県労働福祉会館
「連合青森組織拡大委員会・学習会」
- 7月31日（水）13時30分 県労働福祉会館
「第1回地場労組対策委員会」

『令和6年能登半島地震』ボランティア活動に参加して

1月1日に発災した『令和6年能登半島地震』への支援活動、3月からスタートした『連合救援ボランティア』は第14クール（6月22日～29日）を迎え、連合東北ブロック連絡会から14名が派遣され、内、連合青森からは上平裕貴副事務局長と

中嶋悠太さん（自治労）の2名が派遣された。

全体で42名のボランティアスタッフは輪島市と珠洲市の2チームに分かれ、ガレキや家財の運び出しや片付け、また運営スタッフは現地の社会福祉協議会と連携しニーズ調査などを行った。

「こんなにも進んでいないのか」というのが率直な感想である。

宿泊場所の「七尾市」から「珠洲市」までの片道2時間、道中にも全壊、半壊した住宅や店舗が立ち並び、傾いた信号機や街灯、隆起やひび割れしている箇所が散見された。作業に入った「珠洲市」の状況はより厳しく、主要道路のみ仮補修のような形でひび割れを埋めてはいるものの、マンホールが地上から数十センチ以上盛り上がっている箇所や側溝の破壊やゆがみ、地層のズレについてはほぼ手つかずであり、生活道路に入ると未だに倒壊した屋根の瓦や窓、家財などが道を塞いでいたりもする。

期間中、ボランティア作業車や廃材を運ぶトラック等は見かけるものの、ショベルカーなどの重機車両や自衛隊車両とすれ違うことが少なく、現状として何に取り組んでいるのか、どのような計画で復興作業が進んでいるのかが見えない状況にあった。来たばかりの我々のみならず、地域住民も同様に感じてい



倒壊家屋から運び出され山となった廃材集積所



倒壊家屋からの廃材撤去作業に従事する中嶋悠太さん

ると思われ、その結果がニーズ調査の報告でも多数あった「行政への不満・不信」へ繋がっているのだと強く感じた。

人も物資もまだまだ足りておらず、ボランティアの領域では対応が困難な状況が多く見受けられた事から、自衛隊や専門業者の派遣について、国・県・市で連携し行政の力を持って復興を強く推し進めて欲しいと強く感じたボランティア派遣であった。

連合青森 副事務局長 上平 裕貴

はたらくのそばで、
ともに歩む

東北ろうきん サマーキャンペーン

夏キャン

2024 6/1 - 7/31

対象となるお取引をご契約いただいた方全員に岩手県産うるち米を使用した「ポリフリー（のり塩味）」プレゼント!

詳細はこちら

0120-1919-62 (受付時間: 平日 午前9時～午後5時) <https://www.tohoku-rokin.or.jp>

満期金 もプラスできる!

こくみん共済 NEWS 0224M001

せいめい共済 定期 生命プラン

終身生命共済・個人長期生命共済

万一のときの「死亡・重度の障がい」への備えに。

5年または10年の更新で、ライフスタイルに合った保障を!

こくみん共済 青森推進本部 (青森県労働者共済生活協同組合)

働く者・生活者の立場にたった政策実現に向けて！

連合青森推薦県議との意見交換会

連合青森は本県が直面する課題を取りまとめ、働く者・生活者の立場から毎年、県に対し政策要請を行っている。今回はこの要請内容をより実効性の高いものにするため、6月24日（月）、連合青森推薦県議会議員6名と意見交換を行った。

内容は①雇用・労働、②人権尊重、③教育環境の整備と教育、④介護と子育て支援、⑤福祉・福祉保障、⑥公共交通、⑦農林漁業、⑧資源・エネルギーの8分野23項目。

意見交換に入り、『カスタマーハラスメント対策の推進』について「他県では対策検討の協議会

大澤祥宏県議



が設置されている。本県においても協議会設置や対応ガイドラインの策定にむけた検討を呼びかけてはどうか」という意見や、『地域における高齢者の就労促進』について「タイミングとして非常に良い。本県は人材不足・後継者不足により廃業を余儀なくされている企業が増加している。勤労意欲を持つ高齢者の就労が人手不足課題の

小笠原大佑県議



川村悟県議



意見交換の様子

一助となる。県も推進していくべき」、また『子の育ち・子育てと次世代育成支援』について「現下、発達障害児の預かり先が不足している。委託先の受け入れ規模も含め、喫緊の課題となっている」や「不登校児の受け皿であるフリースクールなど子どもの居場所について今後、検討していただきたい」など、現在の情勢を踏まえた多くの意見・要望が出された。



鶴賀谷貴真議



高畑紀子県議



斉藤孝昭県議

連合青森ではこれらの意見内容を踏まえ、8月28日（水）に県に対し政策要請を行う。

7月 2024年 7月13日

はたらくのそばで、ともに歩む

連合エコライフ

2024

ピークカットアクション夏

OA機器

- ① 省エネモードなど各機器の節電機能を活用しよう。
- ② プリンター等の共有機器の使用台数を必要最低限に。
- ③ 仕事終わりには共有機器の主電源を切って終了。できればデスクトップの電源オフ。

空調

- ④ 屋内、屋外等の職場環境に応じた服装の調整。クールビズの実践を。
- ⑤ 冷房機器の使用時は、カーテン・ブラインド、サーキュレーターを活用しよう。
- ⑥ こまめにエアコンのフィルター清掃をしよう。
- ⑦ 熱中症対策をしながら節電に取り組もう。暑さ指数[※]や各種アラートをチェックし、水分・塩分を補給しよう。

照明器具

- ⑧ 昼休みや未使用時の事務所・会議室・トイレなどの、こまめな消灯を。
- ⑨ LED電球への買い換えや、可能な範囲で電球の数の削減を。
- ⑩ 目に負担をかけない範囲で明かりを抑えよう。

冷蔵庫

- ① 詰め込みすぎず、温度設定を控えめに（強にしない）。
- ② 扉の余分な開閉をせず、開閉時間も短く。

トイレ

- ③ 温水洗浄便座は、温度設定を控えめに。
- ④ 使用後は便座のふたを閉めて。

フロア移動

- ⑤ 階段の利用を推奨し、エレベーターやエスカレーターの使用を最低限に。

※暑さ指数…熱中症を予防することを目的に、人間の熱バランスに影響の大きい①気温、②湿度、③輻射熱の3つを取り入れた指標

連合青森ホームページ
<http://aomori.jtuc-rengo.jp/>



連合青森facebook

